



経済と生活と社会

令和7年8月11日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

技術とシステムの進歩は経済における新たな可能性とプレゼンスを形成する。これらは高い生産性と効率性がその生活の豊かさの創造を新たに実現できるものである。

これらは今日における正しい経済政策と地方行政における新たな社会と生活の創造を可能とするものである。

これらは新たな社会経済金融システムとともに、ネクストソサエティの創造を可能とできるものである。

これら産業における現実が次世代という新たな現実へ完全に転換していることは、産業が既存技術においてその自己経営を求めることが不可能なのである。

これら産業の次世代技術への転換は既存産業システムの崩壊と共に新たな産業の現実とルールの育成を与えるものである。

これらが新たな企業システムと生産システムにおいてはるかに高い生産性と効率性を自己に有することはその利益性の拡大と共に産業の新たな現実の創出を与えているのである。

これら産業の転換が、社会と生活の転換を与えるものであり、それら変化に対して新たな社会システムの構築の必要性は存在するのである。

これら技術進歩は経済のプレゼンスを遥かに拡大させるものであり、等しくそれらは資本力の拡大を与えるものである。

これらは経済が、ライフラインの維持を有することが社会的な責任として産業における理性を与えるものであるが、これがマネーゲームという新たな現実においてそれら責任が希薄となり、高い資本力における資本の追求という新たな現実への参加を得ることは存在するのである。

これら自由経済という枠組みにおいて、それらが許容されることは理解されなくてははいけ



ない。

自由経済システムにおいてこれら現実には完全に許容されるのである。

これらにおいて社会と生活、経済が新たな枠組みとルールを抱くことは可能である。これらが完全にコントロールを失い、競争原理のもと、それら資本の追及の必要性が存在するためである。

これらが富における格差の創造であり、それらが社会における現実を形成するものであることは理解すべきである。

またこれが自由主義の真実であることは必ず理解されるべきである。

これらは現実に対する正しい考察であり、新たな世界の枠組みやルールへの正しい理解基盤なのである。

これら競争と優位性という現実の支配は、歴史における戦争と勝利という現実と全く同じなのである。

これらへの考察は競争という現実への判断を要求するのである。競争を離れるとき、進歩を失い、現実を喪失する。これが共産主義の敗北なのである。

しかしこれらが生存という絶対要求における現実であることは必ず理解できるのである。これらは人類が生存の克服を得ることは、これら歴史のサイクルから離れることであるのは正しいのである。